

2025年度普及啓発事業について

1 交流セミナーの開催

手話言語及び障害の特性に応じたコミュニケーション手段等を広く県民に普及啓発するためのセミナーを開催する。今年度は様々な障害を取り上げることとし、ゲストによるトークショーのほか、手話体験などの来場者参加型のプログラム等を実施する。

【開催内容】

- 日時 2025年10月13日（月・祝）午後
- 会場 総合校舎スパイラルタワーズ
- 定員 トークショー 80名程度
- ※トークショーはWebによる応募、抽選により参加者を決定。

○全体プログラム（案）（トークショーと体験プログラムは別の場所で開催）

トークショー （1時間程度）	障害への理解・知識のあるゲスト、専門家、MCとの掛け合いを通して、自身の経験などを話していただくほか、来場者を巻き込む質問コーナー等の企画を実施する。
体験コーナー	専門部会委員の所属団体にも御協力いただき、聴覚障害、視覚障害、盲ろうの障害種別に応じたコミュニケーション手段を体験できるコーナーを設置し、手話、筆談、点字読み、手のひら書き、指文字などを通じて来場者と交流する。 【協力団体（予定）】 愛知県聴覚障害者協会、愛知県難聴・中途失聴者協会、愛知県盲人福祉連合会、愛知盲ろう者友の会、愛知県手話通訳問題研究会、愛知登録要約筆記者の会、名古屋ライトハウス ※企画運営は団体に御協力いただく。（各ブース3名程度を想定。） ※各ブースを回り、様々なコミュニケーション手段でキーワードを読み解くクイズなどを想定。
普及啓発 コーナー	聴覚障害、視覚障害、盲ろう、ALS、肢体不自由、発達障害、知的障害など、さまざまな障害の特性や支援方法などについて紹介するパネル（A1サイズ）を設置する。 【協力団体（予定）】 愛知県聴覚障害者協会、愛知県難聴・中途失聴者協会、愛知県盲人福祉連合会、愛知盲ろう者友の会、日本ALS協会愛知県支部、愛知県身体障害者福祉団体連合会、愛知県自閉症協会・つぼみの会、愛知県手をつなぐ育成会

2 コミュニケーション支援アプリの運用

- 避難所での利用を想定した表示項目等について改修を行う。
- これまで、多言語対応や表示機能の追加を行ってきたが、階層が複雑化し、重複した情報の記載もあることから、階層構造を単純化し、必要なイラストや質問項目を精査するなど、使いやすさの観点も踏まえた改修を行う。

【主な改修（事務局案）】

- ・「わたしの障害のこと、コミュニケーション手段」というタブを第1層に表示する。
- ・「ぐあいが悪い、痛い」を第1層に表示する。
- ・質問と同じ画面上で自由に言葉を入力できるようにする。
- ・入力した言葉をお気に入り情報に保存する。
- ・家族構成などのイラストを削除する。
- ・避難所項目「ほしいもの」を精査。

3 障害のある方々の避難所における情報格差の解消を目的とした普及啓発小冊子（避難所小冊子）の作成

（参考資料2）

避難所の運営を担う、行政、自治会、ボランティア団体等の職員を対象とした小冊子を作成する。

- 対象 県内54市町村福祉部局及び防災部局、県内市町村社会福祉協議会等（2,000部）
- 納期 11月末頃完成予定
- 内容
 - ・様々な障害の特性とコミュニケーション手段の紹介
 - ・避難所における困りごとの例
 - ・避難所における工夫の例
 - ・日頃からの備えについて
 - ・手話の紹介（愛知県聴覚障害者協会の協力のもと、手話動画を作成予定。）
 - ・災害用コミュニケーション支援ボード